

令和6年度 公の施設目標管理型評価書【音楽文化会館】

施設名	新潟市音楽文化会館				
管理者名	(公財)新潟市芸術文化振興財団	指定期間	令和6年4月1日		～ 令和11年3月31日
担当課	新潟市文化スポーツ部文化政策課				
所在地	中央区一番堀通町3番地2				
根拠法令	—				
設置条例	新潟市音楽文化会館条例				
施設概要	設置:昭和52年11月 施設規模:鉄骨鉄筋コンクリート造、延床面積6,462.3㎡ 施設内容:ホール(525人+車椅子5人) 練習室(13室) 料金区分:午前、午後、夜間、全日の区分で場所ごとに料金を設定している。				

施設設置目的					
音楽、舞踊、演劇等の芸術文化活動の普及振興を図り、明るく豊かな市民生活の形成に資する。					
管理・運営に関する基本理念、方針等					
1 理念 新たな音楽愛好者を育てていくことを通じて、日常生活の中に音楽が息づく心豊かなまちづくりを行う 2 期待される機能 【本質的な機能】 ・舞台芸術の振興 ・芸術文化活動の普及振興 【発展的機能】 ・都市の魅力の向上 ・良好な都市イメージを発信することによる、交流人口の拡大、経済波及効果の増大など 3 基本方針 ① 市民の文化活動への支援 ② 文化を支える人材の育成 ③ 地域に根ざした文化創造					

令和6年度

視点	評価項目	評価指標	実績	評価※	評価コメント※
市民	利用者数の達成	年間利用者数 100,000人以上	9,048人	—	大規模改修工事に伴い、1ヶ月のみの稼働となったため、「J」指標に基づく評価は行わない。
	稼働率の達成	ホール稼働率 70.0%以上	42.9%	—	
	貸館利用者(主催者)満足度	貸館利用者の満足度調査で、90%以上	100.0%	A	年間を通じた結果ではないが、高く評価する。
	貸館利用者(主催者、公演鑑賞者等)に対するサービスの提供及びホスピタリティ等に関する取り組み	専門性の高い職員による安全で高度なサービスを提供し、アンケート等に基づいた細やかなサービスの提供等により館内ホスピタリティ等を充実させる	・施設の特徴や使い方を記載した利用の手引きを作成、配布している ・担当職員が舞台装置の操作助言を実施している ・利用内容を聞き取り、最適な施設利用方法などを助言している ・ホームページにて市民に必要な情報を随時更新している	A	利用者への丁寧な対応が満足度評価の結果にも繋がっており、高く評価する。
		意見箱、アンケート、対面での聞き取りを組み合わせた利用者の意見聴取を実施する	利用報告書による満足度調査とアンケートの実施、意見箱の設置、利用者からの意見・要望の聞き取りを随時実施して意見・ニーズの把握に努めている	A	
	苦情・要望に対する対応	回答が必要な場合、2週間以内に連絡を入れる(回答が遅れる旨の連絡でも可)	・苦情・要望は回答が必要な場合、2週間以内に回答している。	B	
財務	市の歳入の増加	使用料収入 29,383千円以上	954千円	—	大規模改修工事に伴い、1ヶ月のみの稼働となったため、「J」指標に基づく評価は行わない。
	安全安心の確保	非常連絡網の作成等による危機管理体制の整備	・非常連絡網の作成 ・緊急時の対応マニュアルの作成	B	

業 務	日常連絡の適切さ	月次報告書を翌月10日までに提出	毎月10日までに提出	B	
	事業計画・事業報告の適切さ	事業報告書を翌年度4月30日までに提出	4月30日までに提出	B	
	運営方針、事業目標	以下の取組をしているか。 ・設置目的、基本的使命等を踏まえた運営方針がある。 ・運営方針をホームページ等で市民に公開している。 ・運営方針に基づく事業目標に関する自己評価を行っている。	・文化政策の一環として位置付けた独自の運営方針がある ・施設の運営方針をホームページで公開している ・施設の運営方針に基づき事業ごと、運営面からの評価を行い、事業や運営の改善に役立てている	B	
	運営方針を実現するための経営戦略の有無	下記の取組をしているか。 ・内部で定期的に各業務を検証する会議を実施している ・所有者である市と定期的に共有・意見交換の機会を設けている ・利用促進にかかる取組を実施している ・業務改善、経営の効率化に取り組んでいる	・内部で事業を検証・検討する会議を定期的に実施している ・市と会議や意見交換の機会を定期的に設けている ・利用促進につながる事業として「おんぶんリレーコンサート・オンライン」を実施 ・運営方針に基づきながら業務改善、経営の効率化に取り組んでいる	B	
	当該施設の管理に係る関係法令の遵守	コンプライアンス及びハラスメント対策の実施	・コンプライアンス研修の実施 ・ハラスメント防止措置の実施	B	
		守秘義務違反に該当する問題がないこと	守秘義務違反なし	B	
人 材	専門性の高い人材の配置	施設設備管理運営上必要な専門的知識、技能、経験、資格等を備えた人材を配置しているか(建築物環境衛生管理技術者、防火管理者等)	・公文協研修・地域創造ステージラボ他公立文化施設運営に関わる研修受講者在籍 ・建築物環境衛生管理技術者、防火管理者を配置	B	
	職員の育成	館内研修を年2回以上実施	2回	B	
		館外の研究会や研修会などに参加	・全国公文協アートマネジメント研修 ・ホール改修オンラインセミナー ・耐震天井セミナー(以上、オンライン受講) ・地域創造ステージラボ ・新潟県公文協アートフロデュース講座 ・建築物環境衛生管理研修会	A	オンラインも活用し、館外研修を積極的に受講するなど職員のスキルアップを図っており、評価する。
	労働基準の充足	労働基準違反に該当する問題がないこと	該当なし	B	

※ 大規模改修の影響を受ける年度については、市と指定管理者で協議のうえ、達成水準を変更する。

【評価基準】 A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている(複数の指標の場合、全てを達成し、かつその達成度・内容が優れている) B: 要求水準(評価指標)が達成されている(複数の指標の場合、全てが達成されている) C: 要求水準(評価指標)が達成されていない(複数の指標の場合、全ては達成されていない)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)
大規模改修工事に伴い令和6年5月1日から休館し年間を通した集計とならなかったことで、「ホール稼働率」「年間利用者数」「歳入(施設使用料)」は評価指標の達成には至らなかった。 休館中は、長期的な施設保全の視点に基づき、大規模改修工事の効果を高めるための協議を新潟市と続けている。 休館中でも開催できるオンライン形式の事業として「おんぶんリレーコンサート・オンライン」を開催し、過去5回の実績を上回る出演者・動画投稿数を記録するなど、市民の活動・発表の機会を広く提供することができた。 全体としては、概ね良好な水準で業務を遂行できたと考える。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)
現地調査日 令和7年7月22日 大規模改修工事に伴い、令和6年5月から休館中であり、1か月間だけの利用状況から、「稼働率」や「利用者数」「使用料収入」の評価指標に基づく評価を行うことはできない。しかしながら、1年を通じた集計ではないが、「利用者満足度」は引き続き高い評価を得ており、良好な施設運営を実施していると判断する。また、休館中でも「おんぶんリレーコンサート」をオンライン形式で実施し、成果を上げていること及び市民の活動・発表の機会を広く提供しており、評価できる。 今後の施設運営にあたっては、利用者の利便性の向上や、利用率の向上を図る取組を検討するなど、リニューアルオープン後においても良好な施設運営を続けていくことを期待する。